

夏休みの非行を防ぐ

五つの「ケジメ」

夏休みに、海や山へ飛び出す子供たちの顔は、どれも生き生きと輝いて見えます。

しかしその一方、子供たちが非行に走りやすいのもこの季節。非行に走るか走らないかは、夏休みの家庭生活をどう過ごしたかによって、大きく変わってくるようです。

ここでは、欲望や誘惑に負けない強い子供にするために親子で心掛けたい夏休みの過ごし方を五つのポイントに分けて考えてみることにします。

1. へ時 間
約束した時間を
守らせましょう
2. へお 金
計画的な使い方を



3. へ計画性
身につけさせましょう

4. へ友達つきあい
目標を持たせましょう

5. へ健康・安全
強さを持たせましょう

健康のありがたさを
理解させましょう

夏の交通事故防止

県民運動

七月二十一日から八月三十一日までの間、山梨県では夏の交通事故防止県民運動が行われています。夏は行楽シーズンと夏休みが重なり、季節的に交通事故が多発する傾向にあります。この運動は、運転者のみに限らず子供からお年寄りまですべての人が、一人一人正しい交通ルールとマナーを実践で身につけることにより、交通事故防止の徹底を図ろうとするものです。みなさんがこの運動の主役となって交通事故をなくしましょう。



8月1日～31日

シートベルト着用推進運動

きょうから実践

シートベルトの着用を

シートベルトは、車を運転するときの「命綱」——しかし、着用率はまだまだ低く、ドライバー十人中三人にも満たない、という嘆かわしい実情です。そして、「自動車乗車中の死者の九八%が、シートベルトをしていなかった」(警察庁調査)という見逃せない結果も報告されています。昭和五十八年中、全国の交通事故による死者は九、五二〇名でした。このうちシートベルトを着用していれば二、二〇二名の人は助かったと言われます。

交通事故の際に、あなたの

何よりも有効な「命綱」となってくれるシートベルトの着用は、いまや運転操作のひとつなのだということを、ぜひ肝に銘じて下さい。

八月は「身元確認強調月間」
高速自動車国道および自動車専用道路において発生した交通事故死者で、シートベルト着用者には座席ベルト特別保険金が支払われます。

八月は「身元確認強調月間」

県警では、八月に「行方不明の人をさがす相談所」を開設するなど、家出人の行方について全力をあげて調査することになりました。

○家出のときノイローゼ気味だった。
○病氣などを苦にして家出した。
○家出後一度も便りが無い。
○突然行方不明となり、何らかの犯罪または事故に関係しているのではないかと考えられる。

などの理由でご心配の家族は、この機会にぜひ相談所をご利用下さい。相談所には、いろんな資料が用意してあります。

都留警察署 ☎(三)四二一八

住む人の

心をうつすよい道路

八月は「道路をまもる月間」です。時代の流れとともに、道路の果たす役割も変化してきました。今では、コミュニケーション・情報活動の場としてはもちろんのこと、防災空間としても、大切な役割を担うようになりました。

道路は、わたしたちみんなの貴重な財産です。道路上への商品陳列、違法駐車、空缶・すいがらのなげ捨て等はやめましょう。

都留市の気象

	59年6月	58年6月	10年間の平均
最高気温	(9) 31.8 °C	(1) 31.1 °C	31.2 °C
最低気温	(1) 13.0 °C	(5) 10.3 °C	10.5 °C
平均気温	20.2 °C	18.6 °C	19.9 °C
降水日数	1mm以上11日	1mm以上12日	1mm以上12日
降水量	107.5mm	129.5mm	154.0mm
平均湿度	72%	68%	79%

都留市消防署調べ()はその日